

学習指導センターだより

第5号〔令和7年8月22日（金）〕

☎949-6680 南魚沼市六日町 865 南魚沼市民会館2F 南魚沼市学習指導センター

☎:025(773)6702 Fax:025(773)6703 Eメール:mgakusen@minamiuonuma.ed.jp

ホームページ URL: <https://www.minamiuonuma.ed.jp/1570003> **南魚沼市学習指導センター**で検索



国語の「読む力」について

8月4日（月）に小学校国語授業づくり研修を、8月5日（火）に中学校国語授業づくり研修を実施しました。それぞれの研修会で、講師の先生がお話くださった「読む力」に関する内容について紹介します。2学期以降の授業づくりの参考にしていただければ幸いです。

【共愛学園前橋国際大学 准教授 桂 聖 様】

＜3つの読みの力＞

- | | | |
|------------------------------------|---|--------------------------------------|
| ①確認読み…答えが1つ | } | ※確認読みや解釈読みの仕方を系統的に
学べるようにすることが大切。 |
| ②解釈読み…答えが多様 | | |
| ③評価読み…自分で決める（どこに注目して、どう解釈しているかが大事） | | |

（南魚沼市でいう「正しく読む」は①確認読み

「深く読む」は②解釈読み と ③評価読み にあたる。）

【福島大学 教授 佐藤 佐敏 様】

＜「読みの力」を高めるために＞

- ①「根拠」と「理由」を分けて考える。
 - ・「根拠」と「理由」を記述し、その「根拠」と「理由」の違いを検討するからこそ「読みの力」が高まる。
 - 「根拠」…データ（本文） 「理由」…自分自身の中にあるもの
 - ・「根拠」と「理由」と「解釈」の三項の関係で解釈を述べるができるようになると、「読みの力」は格段に飛躍する。
- ②読みの解像度を上げる。
 - ・文章を理解するためには、一つ一つの言葉の指し示す意味がわからないといけない。「意味がわかる」ためには、まず脳内にそれが映像化できるとよい。
 - ・映像は自身のもっている経験や知識と密接に関連していれば鮮明となりやすく、関係性が薄かったり、その言葉に関連する経験や知識が皆無であったりすると、その映像化は困難になりやすい。
 - 読みの解像度を上げる方法を考える（図示化や動作化など）。

どちらの先生も以下の著書をもとにお話くださいました。学習指導センターから貸し出し可能ですので、より詳しい内容を知りたい方は、ご連絡ください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・『「Which型課題」の国語授業』東洋館出版社 桂 聖・『思考力を高める授業 作品を解釈するメカニズム』三省堂 佐藤 佐敏・『認識力を高める授業 読みの解像度を上げるメカニズム』三省堂 佐藤 佐敏 |
|---|

（文責 荒井 一人）

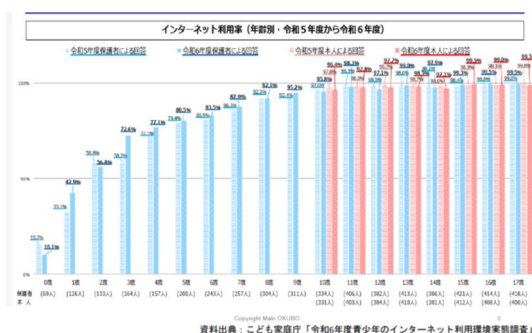
社会で、デジタルウェルビーイングを！

7月28日（月）センター主催の「情報モラル教育研修」が行われました。今年度は講師に一般財団法人インターネット協会の大久保 真紀様をお招きし「社会で、デジタルウェルビーイングを！」演題に対話形式による研修を実施しました。また、今年度より GIGA スクール構想も第2ステージが始まり、「デジタルシチズンシップ教育」について理解を進めていくため、各校情報関係職員1名の悉皆研修として行いました。

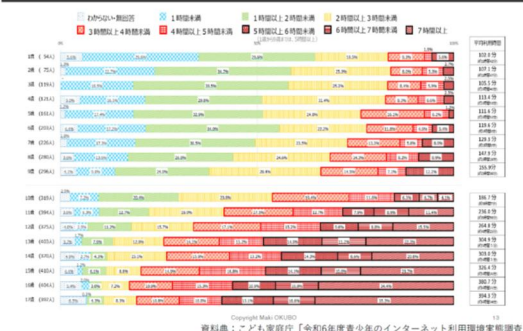


こども家庭庁「令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査」から考える「これらのデータから課題は何だ」と感じますか？

3歳で約7割、5歳で約8割



17歳の平日平均利用6時間半超



→ インターネット利用の低年齢化、長時間利用が加速している

GIGA 第2ステージが始まり、学校での ICT 活用は、これまでの「心情規範」に基づいた、道徳寄りの「情報モラル教育」から、新たに「行動規範」に基づいた、スキルやリテラシーの習得に重きを置いた「デジタルシチズンシップ教育」へと移り変わってきています。デジタルシチズンシップ教育では、今まで以上に保護者の対話を通じた関わりが重要になってきています。学校としては、児童生徒に客観性を育む体験活動の充実、教科横断的に実施する情報活用能力（情報モラルを含む）の育成、PTA 親子インターネット教室の開催等です。デジタルウェルビーイング社会の実現に向け、児童生徒の情報モラルを育て、情報社会について理解を深めていきたいところです。

参加者の感想より

ICT の利用の仕方やその課題について、教員という立場からは「どうしたらトラブルや問題を減らせるか」「使い方をどう教えるか」という部分にのみ注目していたように思います。今回の研修会ではまず、現在のネット社会の全体像を知ることができました。子供だけでなく、多くの大人もインターネットに「使われている」現状が見えてきました。上から目線でルールを押しつけるのではなく、子供と同じ目線に立ち、対話を進める必要性を感じました。

情報モラル教育研修というのは、とてもおもしろいテーマの研修で内容も興味深かった。（中略）一教員としてできそうなことがあるとするならば、情報を選ぶための批判的思考力を授業内で少しずつ子供に身につけさせることだと思った。私は、今、理科授業をメインに担当していて、理科では、客観性をもつ実験・観察を多々扱うため、同じく客観性を必要とする情報モラル教育につなげていけたら良いなと思った。

（文責 中澤 晃）

期 日	コード	研 修 講 座	会 場
9 月 2 日 (火)	H09	《社会科》授業力向上研修	ふれ愛支援センター 研修室
9 月 2 日 (火)	G02	《小中学校共通講座》② 望まれるミドルリーダー像 ～キャリアステージごとに求められる資質・能力～	南魚沼市民会館 実習室
9 月 4 日 (木)	G03	《小中学校共通講座》③ いじめ理解と対応	南魚沼市民会館 実習室
9 月 11 日 (木)	R14	《理科》【重点単元別研修】 小6単元「月の形と太陽」	塩沢小学校
9 月 12 日 (金)	K02	《国語》授業公開講座Ⅱ〈小学5年〉 郡市小教研指定研究	赤石小学校



期日	学校名（教科等）	期日	学校名（教科等）
9月4日(木)	石打小(外)	9月17日(水)	城内小(国)
9月5日(金)	大崎小(国)	9月19日(金)	栃窪小(国)、五十沢小(外)
9月10日(水)	薮神小(国)、城内小(算)	9月22日(月)	浦佐小(国)、六日町小(算)
9月12日(金)	赤石小(国)、塩沢小(外)		